

市議会 だより

第**238**号

令和5年6月15日発行



- 3月定例会での主なことから …… ②③④
- 議会日誌 …… ④
- 代表質問 …… ⑤⑥⑦
- 個人質問 …… ⑧⑨⑩⑪⑫⑬
- 委員会の活動状況 …… ⑬⑭
- 5月臨時会での主なことから …… ⑭
- 第15期議員紹介（私の決意、抱負） …… ⑮
- 委員会構成表等 …… ⑮⑯

議長



丸山 幸子（58歳）

副議長



松原たかし（60歳）

監査委員

若杉たかし（60歳）

議長就任あいさつ

第58代市議会議長に就任いたしました、丸山幸子でございます。
日頃は、市議会に対する御理解と御協力を賜り、心から感謝申し上げます。
5月8日より、新型コロナウイルス感染症の法的位置付けが5類へと移行し、社会全体が日常に戻りつつあります。市議会にあっても、コロナ禍にあった3年間は、様々な行事が中止やオンライン開催へと変更され、制限の中での議会活動でした。今年度からは、コロナ前の議会活動が再開されていく予定です。

そうした中、進めてまいりたいのが「議会改革」であります。私がこれまでの議員活動を通して検討が必要と感じてきたことを、具体的に進めていきたいと考えています。

1つは、委員会の在り方です。委員会の数と定数、任期について、コロナ禍のように議員が欠席した場合でも十分な審査ができる体制を整える必要があります。また、現在、試行で行われています予算決算特別委員会の常任委員会化についてもより活発な委員会となるよう検討をしていかなければなりません。

2つ目に、政策立案機能を発揮するための仕組みづくりを検討してまいります。
3つ目に、女性議会と議会報告会の実施です。市民に開かれた議会を目指し、市民の意見を把握するため、直接皆様からのお声をお聞きする機会を作りたいと考えています。

これからも、市民の皆様のためにしっかりと働く市議会を目指して頑張ってまいりますので、御指導御鞭撻をよろしくお願いたします。

3月定例会での主なことから

尾張旭市議会令和5年第1回（3月）定例会が、2月28日から3月24日までの25日間開催され、市長提出議案26件、同意案2件、委員会提出議案1件、意見書案1件を審議しました。

採決の結果、市長提出議案26件、同意案2件、委員会提出議案1件、意見書案1件を可決等しました。

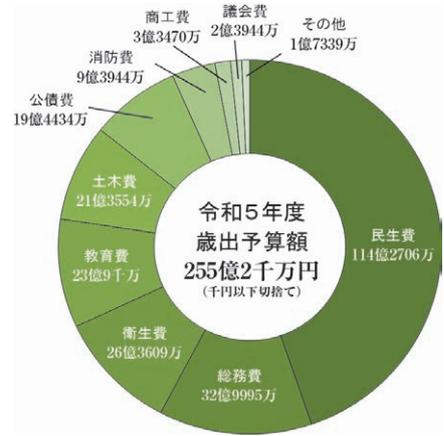
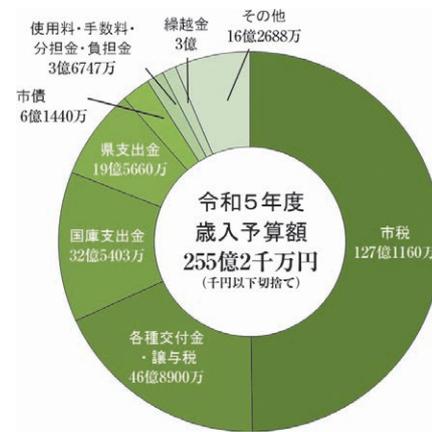
予算関係

▼令和5年度当初予算

一般会計予算は、前年度比3.8%減の総額255億2千万円となりました。

主な歳入は、**市税**では、3億1800万円の増額で127億1160万円。**地方交付税**では、3億6千万円の減額で20億3千万円。**国庫支出金**では、5億5071万円の減額で32億5403万円。**財産収入**では、2億6126万円の増額で4億9553万円。**市債**では、7億7930万円の減額で6億1440万円としました。

主な歳出は、**総務費**では、公共施設整備基金積立金などの減額により、2億1225万円の減額で32億9995万円。**民生費**では、福祉医療費などの増額により、2億6070万



円の増額で114億2706万円。**衛生費**では、新型コロナウイルスワクチン接種事業費などの減額により、2億6064万円の減額で26億3609万円としました。

各特別会計の予算総額は、149億5370万円。水道事業会計は、23億394万円。公共下水道事業会計は、38億5807万円とし、全予算総

額466億3571万円としました。

▼第26号 令和5年度一般会計補正予算（第1号）

新型コロナウイルスワクチン接種経費の関連予算を計上し、歳入歳出それぞれ3億2千万円を追加し、総額258億4千万円としました。

▼第1号 令和4年度一般会計補正予算（第10号）

国の補正予算に基づく補助事業や市独自の物価高騰対策を追加するほか、決算見込み等に基づく予算額の調整などをしようとするもので、総額307億300万円としました。

★令和4年度補正予算一覧（千円以下切捨て）

会計名	補正額	補正後の予算額
一般会計（第10号）	8億866万円	307億300万円
国民健康保険特別会計	1億542万円	70億9483万円
旭平和墓園事業特別会計	△1705万円	7135万円
介護保険特別会計	△1億4564万円	57億9532万円
後期高齢者医療特別会計	1870万円	14億3222万円

条例関係

▼第15号 職員定数条例の一部改正

農業委員会等の事務部局の職員の定数を改正するため、所要の整備を図り、令和5年4月1日から施行しました。

▼第17号 子ども・子育て会議条例の一部改正

子ども家庭庁設置法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律の施行に伴い、所要の整備を図り、

令和5年4月1日から施行しました。

▼第21号 国民健康保険条例の一部改正

健康保険法施行令の一部改正に伴い、国民健康保険の出産育児一時金の支給額を見直すため、所要の整備を図り、令和5年4月1日から施行しました。



人事案件

▼同意案第1号 公平委員会委員の選任

次の方の選任に同意しました。

滝 恵美

（名古屋市瑞穂区 54歳）

▼同意案第2号 固定資産評価審査委員会委員の選任

次の方の選任に同意しました。

日比野 享

（瀬戸市品野町 68歳）

（以上 敬称略）

☆ 議案等の審議結果 ☆

議案番号	会派名 件名	可決 否	令和あさひ							市民クラブ				公明党 尾張旭 市議団			山下 幹雄		
			秋田 さとし	さか え章 演	陣矢 幸司	谷口 武司	日比 野和 雄	松原 たか し	安田 吉宏	若杉 たか し	市原 誠二	櫻井 直樹	篠田 一彦	早川 八郎	菅原 美佳 子	片淵 卓三		丸山 幸子	川村 つよ し
第1号	令和4年度一般会計補正予算(第10号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第2号	令和4年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第3号	令和4年度旭平和墓園事業特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第4号	令和4年度介護保険特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第5号	令和4年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第6号	令和5年度一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
第7号	令和5年度国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
第8号	令和5年度土地取得特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第9号	令和5年度旭平和墓園事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第10号	令和5年度介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
第11号	令和5年度後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
第12号	令和5年度水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第13号	令和5年度公共下水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第14号	印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第15号	職員定数条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第16号	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第17号	子ども・子育て会議条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第18号	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第19号	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第20号	放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第21号	国民健康保険条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第22号	国民健康保険税条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
第23号	下水道条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第24号	市道路線の認定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

(次ページに続く)

議案番号	会派名 件名	可 否	令和あさひ							市民クラブ				公明党 尾張旭 市議団					
			秋田さとし	さかえ章演	陣矢幸司	谷口武司	日比野和雄	松原たかし	安田吉宏	若杉たかし	市原誠二	櫻井直樹	篠田一彦	早川八郎	芦原美佳子	片淵卓三	丸山幸子	川村つよし	花井守行
第25号	公の施設の区域外設置	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第26号	令和5年度一般会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意案 第1号	公平委員会委員の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意案 第2号	固定資産評価審査委員会委員の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
委員会 提案 第1号	議会委員会条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書案 第1号	带状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×

○：賛成 ×：反対 を表示しています。

網掛けは、討論を行った議員です。

討論の内容は、市議会のホームページ（「提出議案と議決結果」で検索→定例会名）から御覧いただけます。

議長（篠田一彦）は採決に加わりません。

議会日誌

● 2月

- 3日 愛知縣市議会議長会 定期総会（東浦町）
- 16日 議会運営委員会 各派代表者会
- 17日 全員協議会
- 27日 議会運営委員会 各派代表者会
- 28日 令和5年第1回3月定例会（初日）

● 3月

- 6日 本会議（一般質問）

- 8日 本会議（一般質問）
- 9日 本会議（一般質問）
予算決算特別委員会（全体会）
- 15日 福祉文教委員会
予算決算特別委員会福祉文教分科会
- 16日 都市環境委員会
予算決算特別委員会都市環境分科会
- 17日 総務委員会
予算決算特別委員会総務分科会
- 20日 各派代表者会
- 22日 予算決算特別委員会（全体会）

- 23日 議会運営委員会
- 24日 本会議（最終日）

● 4月

- 13日 東海市議会議長会 定期総会（三重県松阪市）

● 5月

- 8日 各派代表者会
- 10日 各派代表者会
- 16日 令和5年第2回5月臨時会
- 23日 議会広報委員会

●市議会ホームページをご覧ください

市議会のホームページには、会議録だけでなく、議員名簿、提出議案及び議決結果、討論要旨、一般質問通告書、尾張旭市議会の申合せ事項、政務活動費、議長交際費、市議会だより、本会議の映像配信など、議会の情報を掲載しています。



◀市議会
ホームページ

代表質問

※議長(篠田一彦)、副議長(芦原美佳子)、監査委員(さかえ章演)は、慣例により一般質問を控えています。

市民クラブ



早川 八郎 議員



(動画配信)

Q 本市の財政力向上が、リーダーとして目指す最重要課題ではないか？

A 重点施策6項目全てを連動させて推進することで、財政力向上にもつながる

【市長が目指す最重要課題について】

Q 所信表明の重点施策6項目が示され、その決意を述べられたが、策定中の第六次総合計画においては、財政力向上に踏み込んだ具体的な内容に欠けていると感じる。企業人だった市長の経験・人脈・発想等と本市の現状を鑑みると財政力向上が、尾張旭市のリーダーとして目指す最重要課題ではないか？

A 市長 所信表明では、「もっと住みやすい街へ やっぱり住みたい街へ」の実現に向け、重点施策6項目を示した。これらの施策は、それぞれ単体ではなく、全てを連動させて推進することで、このキャッチフレーズの実現につなげようとするもので、その結果「本市の財政力向上」につながると考える。

Q 災害対策としてのLive 119導入で、安全安心なまちづくりができるのでは？

A 多様化する災害などに非常に有用であるので、導入に向け検討していく

【Live 119について】

Q 公共の場での応急手当の実施率、救命率の向上のため、119番通報の後に行う応急手当

アドバイス(口頭指導)の強化が注目されている。その一つとして、映像を活用した口頭指導「Live 119」がある。これは、スマートフォンを使い、救急現場などの映像を災害救急情報センターに送信できる仕組みで、管制員は、送られた映像を見ながら応急手当の方法の指導や応急手当のやり方が分かる動画を送信者に送ることができる。本市のAED普及が進んできている中、次の課題は専門知識がない方が少しでも救命率を上げることができる仕組みづくりと考えるが、市長の見解を伺う。

A 市長 救急や多様化する災害などの現場においては、こうしたシステムが非常に有用であると考えられるので、その導入に向け、積極的に検討する。



Q 遠隔授業とリアル授業の二つを併せ持ったハイブリッド授業の見解は？

A 必要性と効果を検討し、教育の目的を果たすことができる改善を進める

【遠隔授業とリアル授業のハイブリッド教育について】

Q 学校の授業は、1クラスに1人以上の教員が、授業を受け持つのが当たり前のシステムとなっている。しかし、進学塾や企業の研修などでは、1人の講師の講義(授業)を様々な場所やシチュエーションにおいて受講している。これと同じような発想を学校教育に導入すると1人の教員の授業で多くの児童生徒が一度に受けることができる。

このことが確立されれば、教員の働き方改革にもつながる。ただ、何もかも遠隔授業にすることは得策ではないので、リアル授業も大切である。そこで、この二つを併せ持ったハイブリッド授業の在り方について伺う。

A 教育長 対面授業とICTを活用した遠隔授業を使いこなすハイブリッド授業の必要性も出てきていると感じる。今後も、必要性と効果を検討しながら、教育の目的を果たすことができる授業への改善を進めていく。



その他の質問項目

- 財政力向上のための保有地活用について
- 少子超高齢化と人口減少について
- 若い世代に尾張旭市の住民になっていただくための支援について
- 自治会加入の未来の考え方について
- (仮称)尾張旭テラス(ビバリ旭テラス)的発想でワクワクする街づくりについて
- マイナンバーカードと医療連携について
- セルフメディケーション税制とメディカルフィットネスの構築で世界に誇る健康都市について
- スタートアップの創業支援について
- スーパーメガリージョン構想について
- 人工知能(AI)活用による行政サービスについて

代表質問

公明党尾張旭市議団



丸山 幸子 議員



(動画配信)

Q キャッチフレーズ「もっと住みやすい街へ やっぱり住みたい街へ」について

A 「もっと住みやすい街へ」、それをもう一歩進めて「住みたい街へ」と変貌することが重要

Q 市長選で掲げられたキャッチフレーズ「もっと住みやすい街へ やっぱり住みたい街へ」に込められた思いについて伺う。

A 市長 自分の子どもや孫が社会人となり、家庭を築くときに、やっぱり生まれ故郷の尾張旭に「住みたいな」と思ってくれるような街であってほしい。そして、子育て世代に、尾張旭を「終の棲家」に選んでもらえるような街であってほしい。こうしたことを念頭に置き、バランスの取れたまちづくりを通して、尾張旭の持つポテンシャルを引き出し、高めていきたいという思いを込めた。

Q 待機児童対策について

A 安心して子どもを産み育てられるまちとなるために、待機児童の解消に向けた対応を進めていく

Q 保育園に入ることができなかったとお声がある。待機児童対策に対する考えを伺う。

A 市長 現在、3歳未満児で待機児童が発生しており、解消に向けた対応の必要性を改めて感じたところである。働きなが

ら子育てをする方々にとって、保育の受入先の確保は死活問題である。このため、定員の拡充や新たな入園の仕組みづくりなど、柔軟な対応について検討していきたい。

Q ヤングケアラー支援について

A まず実態を把握し、個別に必要な支援策、取り組む体制を検討する

Q ヤングケアラーの存在に気付くための仕組みについて伺う。

A 市長 まずその実態を把握しなければ有効な支援策を講ずることができないと考える。市内の複数の部署のほか、市役所以外の関係機関、地域の皆様などと情報共有を密にし、連携体制を構築していく必要があると考える。

Q ひきこもり対策について

A 相談窓口の一元化や総合相談窓口の設置など、より相談しやすい体制の構築を検討する

Q 子ども・若者支援地域協議会を設置する意味は、教育、子育て、福祉、医療、就労など関係機関が連携し、一人一人に合った支援ができることである。ひきこもりなどの対策として、本市での設置の見解を伺う。

A 市長 ひきこもりなどは、様々な問題が絡み合って生じていることが多く、その要因は多岐にわたる。こうした事案に対して横断的な対応を進めている取組が既に市内にあるため、まずはこの会議体を発展させ、協議会の設置や相談窓口の一元化等へとつなげていきたい。

Q いじめ、不登校対策の強化について

A 市内の1つの中学校において、校内フリースクールの設置を行い、専属の担任を配置する

Q コロナ禍にあって不登校児童生徒が増加している。いじめ、不登校対策の更なる強化について伺う。

A 教育長 いじめ対策については、子どもたちのタブレット端末に「いじめ悩み相談SOSボタン」を配置し、子どもたちがより相談しやすい環境づくりの構築を図っている。また、不登校対策の一つとして、校内フリースクールを設置し、これまでの別室登校よりもより柔軟な受入れについて検討を進めていく。



Q LGBTなど性的少数者への支援について

A パートナーシップ制度の導入について早期実施に向けて検討する

Q LGBTなどの性的少数者への支援について伺う。

A 市長 本市では、性的少数者に対する理解を深め、偏見や差別をなくしていくことが重要であると考え、これまで市民向けにパネル展示等の啓発を進め、研修の開催、必要なものを除き申請書等から性別記載欄を削除している。こうした中、パートナーシップ制度の導入について早期実施に向けて検討するよう担当部署に指示をした。

代表質問

令和あさひ



松原たかし 議員



(動画配信)

Q 柴田市長の市政運営について伺う

A 市民の皆様と一緒に「笑顔あふれる尾張旭」を創っていききたい

Q 市長の考える少子超高齢化や人口減少の在り方について伺う。

A 市長 今後もバランスの取れた年齢構成の下、人口を微増又は維持できれば理想的だと考えている。その実現のための施策等を、現在策定中の第六次総合計画の中で示していきたい。

Q 民間企業での実績や、企業経営の知見をどのように生かしていくのかについて伺う。

A 民間企業での経験や実績を全て踏まえた「感性」のようなものを、市政運営に生かしていくことで、ぜひ新しい風を吹かせていきたい。名古屋鉄道の役員時代に事務局長を務めていた「リスク管理委員会」や「企業倫理委員会」での経験等は、防災・減災の取組や、さきの職員の不祥事対応等に、確実に役立つものと信じている。

Q 「安全安心」について伺う

A 訓練を重ねていくことで、今後の防災態勢の強化につなげていきたい

Q 市民に、自助・共助（近助）の重要性を認識していただくことについて伺う。

A 市長 いざというときに、援助の手が必要な人に声をかけ、共に助け合うためには、日

頃から顔の見える「御近所付き合い」がとても大切になる。このため、多様なレベルでの「人と人とのつながり」や「絆」を支援することで、地域防災力の向上を図っていきたい。

Q 浸水対策・雨水幹線等の整備の推進について伺う。

A 計画的な浸水対策を進めており、今後はこれまで以上にスピード感を持って、重点的に整備を推進していきたい。



Q 「子育て・教育」について伺う

A 「子育て環境の整備」を、大変重要視している

Q 共働き世帯の増加に伴い、保育園等の子育て環境の整備が必要不可欠だが、今後の対応について伺う。

A 市長 保育園や児童館などの「子育て支援施設」の多くは、建設後、年数が経過している場合が多くなっている。このため、危険箇所を取り除く改修を順次進めていくとともに、施設の長寿命化に向けた取組も進めていきたい。

Q 生涯学習やスポーツ、伝統文化の質的向上や裾野の拡大について伺う。

A 様々な分野の知識や特技をお持ちの方が講師を行う「市民塾」によって、高いスキルを持った方の掘り起こしや、これまでにないメニューの提供などを図っていきたい。また、伝統文化に関する活動への参加支援策

についても、関係団体の意見も伺いながら検討していきたい。

この項目のその他の質問項目

・図書館や児童館を活用した取組について

Q 「経済・多様性」、「環境・都市基盤」について伺う

A 様々な分野で多様な価値観と発想が取り入れられる機会を拡大する必要がある

Q 事業者や勤労者の支援を通じた地域の活性化について伺う。

A 市長 市内事業者とのトップ交流を実施するなど、事業者や商工会等の団体とのネットワークを強固にして、地域産業の振興に努めていきたい。

Q 公共交通の利便性向上について伺う。

A 多くの市民が利用する名鉄瀬戸線各駅の拠点性の強化や、国道363号を軸とした公共交通のサービス水準の向上によって、誰もが移動しやすい環境づくりを進めていきたい。

Q 衛生的で快適な住環境の整備に対する考えについて伺う。

A 市街化区域全域での下水道の整備を、令和10年度までに完了することを目指す。また、これまで地元の皆様と積み上げてきた「街づくり」の実現に向け、三郷駅周辺の整備を、着実に進めていきたい。なお、こうした都市基盤の整備に当たっては、事業の重要性や緊急度を基に、優先順位を総合的に判断し、メリハリの利いた形で進めていきたい。

その他の質問項目

○「健康・福祉」について

○「共創・行政経営」について

個人質問



谷口 武司 議員



(動画配信)

Q 「住まいの終活空き家セミナー」開催後の本市における今後の取組を伺う

A セミナーの開催だけでなく、民間団体や、庁内の関係部署等と連携し、対策を推進していく

Q セミナーの開催趣旨は？

A 都市整備部長 空き家の増加を抑制するためには、存在する空き家について対策を講じるだけでなく、新たな空き家の発生を未然に防ぐことが重要となる。将来の心構えとして、家族も含め、住宅の将来について話し合うことの重要性を知ってい

ただく機会となることを目的として開催した。

Q 住宅・土地統計調査における空き家とは？

A 「二次的住宅」「賃貸用の住宅」「売却用の住宅」「その他の住宅」の4種類に分類され、一般的に空き家と呼ばれるものは、「その他の住宅」と定義されている。

Q 「その他の住宅」の状況は？

A 5年ごとに行われる同統計調査において、平成30年の結果では1610戸であった。

Q 高齢者だけが住んでいる住宅の状況について伺う。

A 同統計調査では、夫婦二人で住んでいる世帯のうち、両方又はいずれかが65歳以上である「高齢者のいる夫婦のみの世帯」の数は4920世帯、65歳以上の方が、一人で住んでいる高齢者単

身世帯の数は3310世帯であった。

Q セミナーで空き家予備軍と語られた高齢者の単身世帯の町別の把握、さらには高齢者に対する対策の計画はあるか伺う。

A 都市計画課長 同統計調査では、町別の細かな状況は把握することができない。長寿課と連携し、「エンディングノート」に、住まいの終活に係る啓発記事を追加することを検討している。

Q セミナーで事例説明があった所有者の意思で利活用ができない住宅について伺う。

A 都市整備部長 「住宅の所有者が認知症となった場合」と「住宅の名義が共有になっている場合」が紹介され、こうしたことが生じないためにも、住宅の将来について御家族で考え、話し合う機会を設けることが重要であると注意喚起がなされた。



市原 誠二 議員



(動画配信)

Q より大きな社会課題の解決を目指し近隣自治体との連携強化を！

A 60項目近くの事務を近隣自治体と共同で処理しており、更に充実させる

Q 自治体の枠を超えた地域課題の解決のために、自治体間の連携や協力強化の必要性は増している。例えば、埼玉県では、5市(所沢市、飯能市、狭山市、日高市、入間市)が協力して地域課題の解決に取り組み、「ゼロカーボンシティ共同宣言」の表明など、個別の自治体を超えた、より大きな社会課題の解決

を旨としている。ぜひ、本市も隣接する市町と共通する課題の解決に向け、「尾張東部地域まちづくり協議会(仮称)」の設立を求める。

A 企画課長 「自治体間の広域的な連携」は、スケールメリットを生かした事務の効率化や、高度なサービスの提供につながり、今後ますます重要度が高まる。また、「広域的な観点」は、市民や各種団体においても、「交流」などといった意味で、大変有用である。今回提案の「尾張東部地域まちづくり協議会」等の考え方も含め、今後も連携した取組を推進していく。

Q 既存施設的能力向上による安価な下水処理施設の検討を！

A 採用可能な技術について検討していく

Q 様々な汚水処理に関する技術開発が進んでいる。新たな技術を活用し高額な土木工事を伴わない、既存設備の能力アップによる対応は可能か？

A 都市整備部長 西部浄化センターの増設について詳細に検討していく。研究機関での新技術の開発状況を注視するなど、採用可能な技術についても併せて検討していく。



個人質問



櫻井 直樹 議員



(動画配信)

Q いじめ無記名アンケート調査について伺う

いじめ実態調査として、いじめの態様や傾向の把握とより効果的な対策の実施を目的として、全学年で年1回実施している

Q 不登校の子どもたちの数は、年々増加している。不登校対策として取り組んでいる施策について、その成果考察を伺う。

A 教育長 心の教室相談員や心のアドバイザーの相談時間を増やしたことで、より多くの児童生徒や保護者と相談することができ、安心感や困り感の軽減

につながっている。

不登校児童生徒を抱える保護者の会「☆手と手と手☆」への参加者も増えている。

Q 不登校の子どもたちの居場所である校内フリースクールの設置について、その方針を伺う。

A 不登校問題への対応の一つとして、令和5年度、市内の1つの中学校に、校内フリースクールを試行的に設置する。専属の教員と非常勤支援員の配置を行い、子どもたちの受入れを行う。

Q 本市の教育の特色は？

A 各校に、学校生活支援員などを配置し、誰一人取り残すことのない教育を目指し実施している

Q 学習指導要領に記載されている「主体的・対話的で深い学び」が、授業でどのように行わ

れているのか伺う。

A 教育長 授業中に、子どもたちがグループ活動などで対話ができるような課題を設定し、主体的に学びを深めていく取組を進めている。また、GIGAスクール構想に伴い導入されたタブレット端末を活用し、互いの考えが共有でき、新たな授業形態の転換ポイントになっている。

Q 若い世代が本市に住みたいと思うまちづくりのために、学校教育の質の向上も大切な要素になる。どのように教育の質の向上を目指すのか、方針を伺う。

A 授業改革の一つに、教員の授業スタイルの転換がある。これまでの教師が教えることを中心とした授業から、子どもたちが主体的に取り組む授業スタイルへの転換が必要とされている。



秋田さとし 議員



(動画配信)

Q 三郷駅前市街地再開発の現在の状況について

A 準備組合において事業計画案がまとまった段階で、組合設立に対する同意収集が進められている

Q 地域住民の方とのワークショップの参加者について伺う。

A 都市整備部長 県立芸術大学と共催で令和3年度から5回開催し、三郷及び東栄地区の駅利用者を中心に延べ130名の参加者があった。年齢層は、30代から40代の子育て世代を中心に小学生から70代までの幅広い年齢層であった。

Q 社会実験について伺う。

A ワークショップでの市民の皆様からのアイデアを実際に体験する試みで「電車パークを体験しよう！」という名称で開催。子どもが遊んだり、電車を見て楽しむ場所を用意し、家族連れを中心に約140名が参加した。



※都市計画決定(令和3年8月)時点のもの。今後の検討、協議により変更する可能性あり。

Q 計画への反映について伺う。

A これまでのワークショップや社会実験から、市民の皆様の

御意見を聞く中で、「待合・滞在・交流」というキーワードが浮かび、駅前という特性を生かし、市内外から多様な世代が交流する施設を目指す。

Q 令和4年度の自治会・町内会の加入率について

A 令和4年度の自治会加入率は58.48%、前年度より0.97ポイント減少

Q 今後の本市の考え方について伺う。

A 市民生活部長 自治会諸活動が、地域の安全安心に直結しており、特に災害時の初動においては、非常に大きな役割を果たすことになる。今後は、役員負担軽減とともに、その労に報いる方策等について検討していく。

個人質問



安田 吉宏 議員



(動画配信)

Q WBC日本代表高橋宏斗選手の応援について

市役所に横断幕、尾張旭駅に懸垂幕を設置し、市民への周知と気運の高まりを図った

Q 高橋選手の応援の実績について

教育部長 令和2年のプロ野球ドラフト会議で中日ドラゴンズから1位指名された際に、お祝いの横断幕を作成し、同年末まで市役所に掲示した。

表敬訪問の際にサインしていただいた応援ポスターは、現在も総合体育館の受付窓口に設置

しており、皆様に御覧いただいている。



Q 小学校の音楽関係部活動の今後の在り方について

令和5年度は廃止ではなく、外部講師を有効活用し、活動を継続する。その後は廃止を含めた地域移行の検討を進める

Q 小学校の運動部活動を廃止するという決断に至った経緯について

教育長 小学校の部活動は、学習指導要領には明確な位置付けがなされていないが、児童にとって教育的意義が高い活

動であるとして、教員の自主的・献身的な活動によって支えられてきた。全国的に見ると部活動を実施している小学校はほとんどなく、愛知県内でも、多くの学校で廃止されている状況もあり、これらの状況を鑑み廃止に至った。

Q 運動部活動を廃止することによる影響について

部活動を通して子どもたちと顧問の先生とのつながりはなくなるが、より日常の教育活動において子どもたちとの関わりを増やすことができる状況を生み出すよう努める。

学校教育課長 「放課後スポーツ教室」の開催など、地域や保護者の皆様の理解を得ながら、これからも児童の成長に寄り添っていくことができるよう努める。



陣矢 幸司 議員



(動画配信)

Q 宮下橋周辺の矢田川河川緑地（矢田川散歩道）の整備について

令和5年度から自転車道整備事業を再開していきたいと考えている

Q 宮下橋から稲葉橋区間の左岸の検討時期について伺う。

都市整備部長 順調に整備が進めば、この区間は令和12年度頃の整備を予定しているので、整備に向けた検討はその少し前の令和10年度ぐらいになると想定している。

Q 宮下橋上流の左岸の整備について

多自然川づくりが行われた

場所であり、緑地整備は難しいと聞いているが、一部においてでも整備が可能か河川管理者である県に相談していきたいと思っている。



稲葉橋上流左岸



宮下橋上流左岸

Q 元気まる測定の更なる活用について

リニューアルした元気まる測定は、セルフケア能力の向上を目指し、運動や食事などの生活習慣の改善に取り組む

Q 市内10か所の地域拠点について伺う。

健康福祉部長 身近な場所で気軽に健康チェックができるよう、総合体育館や公民館、商業施設など市内10か所に「元気まるステーション」を開設し、血圧計と体組成計を設置した。



個人質問



日比野和雄 議員



(動画配信)

Q 生涯学習で行われている講座のデジタル化について伺う

A 令和3年度にオンラインでの講座ができるよう全公民館に高速インターネット回線を整備した

Q デジタル化の取組について伺う。

A 教育部長 保護者の方を対象に、子どもたちの思春期特有の心や体の変化などを学ぶ「思春期家庭教育学級」において、対面とオンライン形式を併用して、いつでも、どこでも、誰でも学ぶことができる環境を整備した。また、デジタルの活用に

不安がある高齢者などを対象に、オンラインでの学びに結び付けるため、気軽にスマートフォンの基本操作などを学ぶ「スマホワンコイン講習会」を開催し、好評だった。

Q デジタル化による講座を受講された方の意見を伺う。

A 生涯学習課長 「思春期家庭教育学級」では「オンラインでの受講により会場への移動時間がなく、自宅で受けられて大変助かった」「子どもを看病しながら講座を受講できてよかった」などの意見があった。



Q 予約した図書館の本の受取りや借りた本の返却ができる施設はどこか

A 三郷・藤池・瑞鳳・平子・本地原・渋川・白鳳・旭丘公民館と新池交流館、東部市民センター

Q 読書奨励事業について伺う。

A 教育部長 市立図書館では、幼い頃から本に親しみ、将来にわたって読書活動を継続できるように、蔵書の充実や読み聞かせの推進など、様々な機会の提供に努めている。一例をお示しすると、夏休みに親子を対象に、閉館後の夜の図書館を探検する「ナイト図書館」を開催したところ大変好評であった。そのため、秋の読書週間にも、閉館時間を午後8時まで延長した「秋の夜長のナイト図書館」を行った。朗読会などには多くの参加があった。



川村つよし 議員



(動画配信)

Q 尾張旭における教員不足の状況について伺う

A 3月現在、6名の担任が不在。そのうち非常勤講師4名で対応。状況が深刻化している

Q 小中学校の教員不足が全国的にも問題になっている。尾張旭市でも、かつてなく不足しているという声が寄せられている。

令和4年4月のNHKの番組の中で、中学生が指摘していることだが、子どもたちの学ぶ権利が守られていないのではないのかということ、特に強調しておかなければならない。

尾張旭市における、教員の不足状況はどうなっているか現状を伺う。

A 教育長 様々な事情でお休みを取得された方の代替者が見つからない状況が生じている。4月当初、1名の常勤講師が見つからず、その後、非常勤講師で対応した。3月現在、6名の担任が不在の状態、非常勤講師で対応しているのは4名分。いまだに2名分は欠員の状態である。不足状況が深刻化している。

Q 教員不足は、コロナ禍以前から国会で問題を指摘されていた。教員不足の原因の一つに、待遇の悪さがあるのは間違いなく、それを教職者のやりがいにつけ込み、ひどい働き方を続けてしまった。その影響が出ているという問題だろう。

県に雇用された臨時教員と、

市に雇用された者とは単価が違う。同一労働、同一賃金の観点から、おかしいのではないかと声を頂いているが金額が違う理由は何か。尾張旭市で教員が不足しているのなら、県の金額より多くてもよいのではないかと、少なくとも、県と同額にすべきではないか。

A 市採用は県採用の講師より時給で約600円低く、市と県で差が生じていることによって、より時給単価のよい県や他市町を希望する方が増えてしまう状況が懸念される。単価は市の規定や各市町の単価を勘案して決められており、金額の多い少ないも承知している。勤務条件が同様であれば、本市においても時給単価を含め、その処遇を検討していかなければならないと考えている。

個人質問



片淵 卓三 議員



(動画配信)

Q 横断歩道の舗装部のカラー化について伺う

A 児童数の多い通学路において、横断歩道のカラー化を推進していきたいと考えている

Q 車両が横断歩道を通過するときには減速をし、歩行者が横断するときには一時停止をしなければならない。これは自動車免許を持っている方であれば当然のことである。しかし、現状は減速せず通過する車を目にするが、住民の方より「車のスピードが出る路線は特に怖い」と耳にすることがある。

令和4年度、3か所の横断歩道の舗装部のカラー化を行った理由について伺う。

A 都市整備部長 横断歩道の舗装部のカラー化を北山町、狩宿町及び旭ヶ丘町の3地区に実施した。これまでは、交通事故の発生しやすい危険な交差点のカラー化や前方にある横断歩道への注意喚起を促すための路面標示など、様々な交通安全対策を行ってきた。

今回、新たな取組として、通学路合同点検などによる交通安全対策の要望を受け、車のドライバーに通学路であることを視覚的に認識させ、児童が安全に通行できるよう、横断歩道の舗装部にグリーンライン同様のカラー化を行った。

Q 今後のカラー化の取組について伺う。

A 現在、おおむね40人以上の児童が通行する通学路で、歩道が整備されていない道路については、グリーンラインを設置しているが、道路を縦断方向にカラー化するのみで、横断歩道には設置していない。

今回、横断歩道の舗装部にカラー化を実施したところ、市民の皆様から好意的な評価をいただいている。

今後については、児童が安全に通行できる環境づくりを進めるため、まずは、児童数の多い通学路において、横断歩道のカラー化を推進していきたいと考える。

その他の質問項目

○救急車の適正利用に向けた取組について

○ペットボトルのごみ削減のための給水スポット設置について

からの給食の提供について

A こども子育て部長 併設する稲葉保育園を運営している指定管理者とも検討を行ったが、個々のお子さんの状況に応じた食材選びや食形態に配慮した対応は難しいとの結論から実施していない。

Q あさぴー号に車椅子の方が一人で乗れることについて

A 都市整備部長 バリアフリー基準の適用外認定車両で運行しており、車椅子の方が一人で御乗車できなかったが、検討を重ね、車椅子対応車両を導入した。

【尾張旭市は「誰一人取り残すことのない教育」を目指している中、しょうがいのある方が「取り残される」といった状況が見受けられる。大人の社会でこういったことがあるといじめはなくならないのではないかと思うことについて】

Cの特徴を持った児童生徒が市内小中学校に存在していることは、教職員にも理解が浸透し、それに対する対応も進んできている。

Q しょうがいのある方に優しい町は全ての方に優しい町におけるピンポンパン教室の送迎について

A 自家用車等を利用できない方には公共交通機関である「あさぴー号」の利用をお願いしたい

Q 生まれてきたお子様にしょうがいがあると分かった瞬間から家族はどうしていいか不安になる。ピンポンパン教室の「療育」はそういった家族の方を支援するととても重要な場である。しょうがいのあるお子様を抱えた家族の方がお弁当を作る負担を減らすために隣接する保育園



花井 守行 議員



(動画配信)

Q 不登校児童生徒の具体的な対策におけるHSCの存在について

A HSCを含めた子どもの困難な状況について教職員が理解を深める

Q HSCという存在がある(敏感さゆえに、現代社会で生きづらさを抱えていることも多いため学校としても生活を送りやすいように配慮をすることが必要)という学校の理解について

A 教育長 明確な診断が下りる状況でないため、市内小中学校におけるHSCの児童生徒数は正確に把握していない。HSC

個人質問



山下 幹雄 議員



(動画配信)

Q 会計管理業務の本市体制について伺う

① 財務会計システムにて慎重に実施している

Q 事務体制の現状について、今回の公金不正処理に関連した業務確認として尋ねる。

① 会計管理者 各部署が支出額、支出先等をシステム入力し、出力帳票化されたものを会計課で点検・審査をしている。不備があれば指摘、助言をして再提出を求めている。

Q 業務の人員体制は。

① 会計課は会計管理者以下正規職員3名、会計年度任用職員

2名の体制で行っている。支出事務は1名を担当としている。

Q 技術革新に伴う人工知能、ICT等の活用により仕事量の効率化や安全性が担保できるのではないか。

① 会計処理は複雑な書類の審査が必要なため、人の手で行っている。新しい技術が開発され事務の効率化が図られる一方、支払の内容等により添付書類が異なるため直ちにシステム化することは難しいと考える。

Q 職員の離職後再就職先について透明性はあるか

① 現状離職後2年以内の本市利害関係先(補助金受給)への就職報告はない

Q 団体や企業への再就職において、行政関与のあっせんは透明性、公平性が必要だが現況は。

① 企画部長 本市が補助金を交付している団体のうち退職した職員が再就職している例として、社会福祉協議会、商工会、シルバー人材センターがある。

Q 本市と利害がある団体、例えば各種組合等への再就職はあるか。

① 人事課長 本市では課長級以上の職に就いていた職員は、離職後2年間以内に再就職した場合は、届け出ることとなっている。現在、該当する職の届けは出ていない。また市では、2年間を過ぎたものに対しては把握していない。

Q 再就職については国、地方自治体においても不透明さが疑念を生んでいる。本市の透明性・公平性は担保されているか。

① 企画部長 退職予定者に対し法令をしっかりと説明していく。

委員会の活動状況

予算決算特別委員会

委員長 丸山幸子

3月9日、15日、16日、17日、22日に開催しました予算決算特別委員会に付託されました案件は、議案14件でした。

◇主な審査内容

◎第1号議案

法人市民税の減額補正の主な要因について質疑があり、「年度の途中までは増額を見込んでいたが、原油価格高騰や部品の不足などにより企業の業績に影響があったと思われ、法人税割額の納付が想定を下回ったため減額をすることになった」との答弁でした。

◎第6号議案

学校教育・部活動推進事業の小学校スポーツ教室について質疑が

あり、「委託料の50万円はおおむねインストラクターの人件費と考えている。各校インストラクター1名に対して児童の参加人数は30名程度であり、活動時間は放課後の90分を予定している。部活動の代わりということで、日没の時間を考慮し安全に帰れる時間には切り上げ、回数については、各校週1回の実施で各曜日2校同時に実施できるようなイメージで考えている」、また、全国植樹祭理念継承事業の木工ワークショップ委託料について質疑があり、「市民の方に木に触れ合う機会が設けられればということで多くの市民が集まる市民祭で、チェーンソーアートの実演等ができればと考えている」との答弁でした。

◇審査結果

第1号、第2号、第3号、第4号、第5号、第8号、第9号、第12号、第13号、第26号議案は全員賛成、第6号、第7号、第10号、第11号議案は賛成多数で可決しました。

福祉文教委員会

委員長 櫻井直樹

3月15日に開催しました福祉文教委員会に付託されました案件は、議案6件でした。

◇審査結果

第17号、第18号、第19号、第20号、第21号、第22号議案は、全員賛成で可決しました。

都市環境委員会

委員長 日比野和雄

3月16日に開催しました都市環

境委員会に付託されました案件は、議案4件でした。

◇主な審査内容

◎第23号議案

県が策定を進めている汚水処理広域化・共同化計画における、排水設備の指定工事店の登録と事務の共同化への参画に当たり本市指定工事店の参加ができない状況が発生する可能性について質疑があり、「本市の登録指定工事店において今回の改正において不備が出る、やらないといったことは現在のところない」との答弁でした。

◎第25号議案

どのような要望を基に実施するのかについて質疑があり、「白鳳

連合自治会長、霞ヶ丘自治会長、名古屋市の大森北学区連絡協議会会長等の連名で要望をいただいた」との答弁でした。また、停留所設置費用について質疑があり、「おおむね5万円程度を想定している」との答弁でした。

◇審査結果

第14号、第23号、第24号、第25号議案は全員賛成で可決しました。

総務委員会
委員長 谷口武司

3月17日に開催しました総務委員会に付託されました案件は、条例の改正に伴う議案2件でした。

◇主な審査内容

◎第15号議案

具体的にどうして増員や組織変更を行う必要があったのかについて質疑があり、「農業委員会においては、遊休農地の解消や担い手への農地集積など、農地利用の最適化活動推進をしていく必要があり、それに伴う業務量が増加したため増員が必要になった。水道事業においては組織が増えたことにより部長、課長の増員が必要になった」との答弁でした。

◇審査結果

第15号、第16号議案は全員賛成で可決しました。

5月臨時会での主なことから

尾張旭市議会令和5年第2回（5月）臨時会が、5月16日に開催され、市長提出議案6件、同意案2件を審議し、全て可決等しました。また、議長に丸山幸子、副議長に松原たかしの両氏を選出し、常任委員等の選任、一部事務組合議会議員の選挙を行いました。

☆ 議案等の審議結果 ☆

議案番号	会派名 件名	可 否	令和あさひ							市民クラブ				公明党 尾張旭市議団		日本共産党 尾張旭市議団		愛知維新の会 尾張旭市議団			
			秋田さとし	さかえ章演	陣矢幸司	谷口武司	日比野和雄	松原たかし	安田吉宏	若杉たかし	市原誠二	いとう伸一	大島もえ	櫻井直樹	早川八郎	芦原美佳子	片淵卓三	丸山幸子	川村つよし	榊原利宏	勝股修二
承認第1号	令和5年度一般会計補正予算（専決第1号）の専決処分の承認	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承認第2号	市税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承認第3号	国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○
第27号	旭小学校等特別教室空調設備整備工事請負契約	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
第28号	東栄小学校等特別教室空調設備整備工事請負契約	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
第29号	渋川小学校等特別教室空調設備整備工事請負契約	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
同意案第3号	副市長の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意案第4号	監査委員の選任	同意	○	○	○	○	○	○	除	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×

○：賛成 ×：反対 除：除斥 を表示しています。

網掛けは、討論を行った議員です。

討論の内容は、市議会のホームページ（「提出議案と議決結果」で検索→臨時会名）から御覧いただけます。議長（丸山幸子）は採決に加わりません。

第15期尾張旭市議会議員紹介 私の決意、抱負 市民の声を市政に届けます

令和5年5月16日現在

①  尾張旭の福祉・医療・介護を守り更に充実させる為に全力です！
勝股 修二 50歳

①  市民にとって健康で魅力的なまちづくりを目指します。
いとう伸一 65歳

②  市民の皆様とともに、「笑顔が溢れる尾張旭」を実現します。
安田 吉宏 48歳

②  地域の絆・郷土愛を持って、皆様と共にふる里を創造していきます。
秋田さとし 49歳

②  「おかげさま、おたがいさま」で尾張旭の未来を拓きます。
市原 誠二 49歳

②  3世代それぞれが住みたくなる尾張旭市を目標として活動します。
谷口 武司 52歳

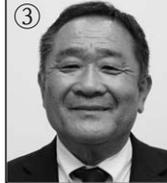
②  子どもから高齢者まで、地域で見守り、地域で育てるまちづくり。
陣矢 幸司 53歳

②  自助・共助の押しつけでなく、公助=社会保障の充実を求めます。
榊原 利宏 65歳

②  子どもたちの未来のために、尾張旭教育の質の向上を目指します。
櫻井 直樹 66歳

②  市民の全てが健康で幸せに普通に暮らせる街づくりをします。
日比野和雄 72歳

③  小さな声を聴く力を磨き、安心と活力ある尾張旭をめざします！
芦原美佳子 58歳

③  尾張旭を一番に考え、おごることなく、市民の声に耳を傾けます。
松原たかし 60歳

④  子どもの笑顔輝くまちに一小さな声を大切に、希望を創ります。
丸山 幸子 58歳

⑤  信頼の政治から生まれる安心の暮らし。人生100年を支えます。
大島 もえ 46歳

⑤  議員の仕事は、行政チェックと創造し挑戦する地域の応援団。
山下 幹雄 65歳

⑤  安全・安心をモットーに市民の暮らしを守ります！
片淵 卓三 64歳

⑥  日常に豊かさ・困った時の安心 ずーっと住みたい、尾張旭市！
早川 八郎 58歳

⑥  市民活動、地域活動を支援して、民意をしっかり市政へ届けます。
若杉たかし 60歳

⑦  「新時代を拓く未来都市尾張旭」「多世代共生の街づくり」実現！
さかえ章演 64歳

⑦  民主主義の発展に寄与し市議会の役割を果たせるよう努め促します。
川村つよし 53歳

※ 写真左上の数字は期数を表示しています。

委員会構成表 (◎委員長 ○副委員長)	
議会運営委員会	◎陣矢 幸司 ○谷口 武司 芦原美佳子 大島 もえ 川村つよし さかえ章演 早川 八郎 山下 幹雄
総務委員会	◎市原 誠二 ○山下 幹雄 大島 もえ 陣矢 幸司 谷口 武司 丸山 幸子 若杉たかし
福祉文教委員会	◎秋田さとし ○櫻井 直樹 いとう伸一 片淵 卓三 榊原 利宏 日比野和雄 松原たかし
都市環境委員会	◎安田 吉宏 ○川村つよし 芦原美佳子 勝股 修二 さかえ章演 早川 八郎
議会広報委員会	◎川村つよし ○芦原美佳子 いとう伸一 大島 もえ 勝股 修二 陣矢 幸司 谷口 武司

一部事務組合議会議員等名簿	
尾張東部衛生組合議会議員	いとう伸一 大島 もえ 片淵 卓三 川村つよし 安田 吉宏
公立陶生病院組合議会議員	秋田さとし 勝股 修二 榊原 利宏
瀬戸旭看護専門学校組合議会議員	芦原美佳子 谷口 武司 山下 幹雄
都市計画審議会委員	市原 誠二 片淵 卓三 谷口 武司 安田 吉宏 山下 幹雄

会派構成表 (◎代表者)	
令和あさひ	◎さかえ章演、秋田さとし、陣矢幸司、谷口武司、日比野和雄、松原たかし、安田吉宏、若杉たかし
市民クラブ	◎早川八郎、市原誠二、いとう伸一、大島もえ、櫻井直樹
公明党尾張旭市議団	◎芦原美佳子、片渕卓三、丸山幸子
日本共産党尾張旭市議団	◎川村つよし、榊原利宏
愛知維新の会尾張旭市議団	◎山下幹雄、勝股修二

議席

令和5年5月16日現在

議会事務局	議会事務局	議事課長	議会事務局 局長	議長		
	市民生活 部長	上下水道 部長				監査委員 事務局長
	消防長	都市整備 部長		演壇		こども子育て 部長
		教育部長	教育長		市長	副市長
						総務部長
	かつまたしゅうじ 1 勝股修二	いとうしんいち 2 いとう伸一	やすだよしひろ 3 安田吉宏	質問席	あきたさとし 4 秋田さとし	
	いちはらせいじ 5 市原誠二	たにくちたけし 6 谷口武司	じんやこうじ 7 陣矢幸司	さかきばらとしひろ 8 榊原利宏	さくらいなおき 9 櫻井直樹	ひびのかずお 10 日比野和雄
	あしはらみかこ 11 芦原美佳子	まつばらたかし 12 松原たかし	まるやまさちこ 13 丸山幸子	おおしまもえ 14 大島もえ	やましたみきお 15 山下幹雄	かたぶちたくみ 16 片渕卓三
		はやかわはちろう 17 早川八郎	わかすぎたかし 18 若杉たかし	さかえあきひろ 19 さかえ章演	かわむらつよし 20 川村つよし	

※議席に表示されている数字は、議席番号です。

編集後記

「自分たちの問題を自分たちで解決しようとする
こと」。「普通の人々が力もち、その声が政治に反映され
ること、あるいはそのための具体的な制度や実践を指すもの」。

議会図書室にある「そもそも民主主義ってなんですか？」という本の、冒頭に出てくる一文です。あなたの意見を反映する市議会になっていますか？

川村つよし

議会広報委員会

- 委員長 川村つよし
- 副委員長 芦原美佳子
- 委員 いとう伸一 大島もえ
勝股修二 陣矢幸司
谷口武司
- 副議長 松原たかし (オブザーバー)